

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	上級実用フランス語A／仏検2・1級取得対策講座A						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	3～4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	仏検準2級、2級に合格できる総合的な語学力の養成を目的とする。 仏検準2級、2級の過去問題、対策問題を解いていく。						
到達目標	仏検準2級、2級レベルの問題に十分対応できる力を養う						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。聞き取り練習。</p> <p>第2回：準2級用練習問題（1）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第3回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第4回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第5回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第6回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第7回：準2級用練習問題（2）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第8回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第9回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第10回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第11回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第12回：準2級用練習問題（3）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第13回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第14回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第15回：まとめと試験</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。</p> <p>授業後学習：前回誤答であったところを見直し、参考書等で確認しておくこと。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には、5点程度加点する。						
教科書	プリントにて配付する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	上級実用フランス語B／仏検2・1級取得対策講座B						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	3～4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	仏検準2級、2級に合格できる総合的な語学力の養成を目的とする。 仏検準2級、2級の過去問題、対策問題を解いていく。						
到達目標	仏検準2級、2級レベルの問題に十分対応できる力を養う						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。聞き取り練習。</p> <p>第2回：準2級用練習問題（4）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第3回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第4回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第5回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第6回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第7回：2級用練習問題（1）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第8回：動詞の問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第9回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第10回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第11回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第12回：2級用練習問題（2）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第13回：動詞の問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第14回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第15回：まとめと試験</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。</p> <p>授業後学習：前回誤答であったところを見直し、参考書等で確認しておくこと。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には、5点程度加点する。						
教科書	プリントにて配付する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	中級実用フランス語A／仏検3・2級取得対策講座A						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2～4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	仏検3級、準2級を取得できる総合的な語学力の養成を目的とする。仏検3級、準2級に合格できる力を養成するため、過去問題、対策問題を解いていく。仏検3級、2級突破に必要な語彙力をつけるとともに、文法的理解を深め、長文にも動じない読解力を養成し、また、書き取り、聞き取りの力も高める。						
到達目標	仏検3級レベルの問題に十分対応できる力を養う。						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。教材の配付。聞き取り問題練習。</p> <p>第2回：3級用練習問題（1）。語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第3回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第4回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第5回：文の選択問題、長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第6回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第7回：3級用練習問題（2）。語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第8回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第9回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第10回：文の選択問題、長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第11回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第12回：3級用練習問題（3）、語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第13回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第14回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第15回：まとめと試験。</p> <p>隔週に単語テストを行う。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。</p> <p>授業後学習：前回誤答であったところを見直し、参考書等で確認しておくこと。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検に合格した者には5点程度加点する。						
教科書	プリントを配布する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	中級実用フランス語B／仏検3・2級取得対策講座B						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2～4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	仏検3級、準2級を取得できる総合的な語学力の養成を目的とする。仏検3級、準2級に合格できる力を養成するため、過去問題、対策問題を解いていく。仏検3級、2級突破に必要な語彙力をつけるとともに、文法的理解を深め、長文にも動じない読解力を養成し、また、書き取り、聞き取りの力も高める。						
到達目標	仏検3級、さらには準2級レベルの問題に十分対応できる力を養う。						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。教材の配付。聞き取り問題練習。 第2回：3級用練習問題（4）。語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。 第3回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。 第4回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。 第5回：文の選択問題、長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第6回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。 第7回：準2級用練習問題（1）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第8回：動詞の問題、代名詞の問題、書き取り、聞き取り問題。 第9回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第10回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。 第11回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。 第12回：準2級用練習問題（2）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第13回：動詞の問題、代名詞の問題、書き取り、聞き取り問題。 第14回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第15回：試験。 隔週に単語テストを行う。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。 授業後学習：前回誤答であったところをもう一度見直し、文法書等で確認しておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	試験に平常点を加味する。仏検に合格した者には5点程度加点する。						
教科書	プリントを配布する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IA						
担当教員	打田 素之						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の「しくみ」を学ぶ。						
授業の概要	フランス語文法の解説と実践練習						
到達目標	フランス語基礎文法の理解						
授業計画	第1回 フランス語の発音 第2回 Leçon 1 (1) 名詞の性と数 第3回 Leçon 1 (2) 不定冠詞 第4回 Leçon 1 (3) 部分冠詞 第5回 Leçon 2 (1) 定冠詞 第6回 Leçon 2 (2) 提示の表現 第7回 Leçon 3 (1) 主語認証代名詞 第8回 Leçon 3 (2) 規則動詞 第9回 Leçon 3 (3) 疑問形 第10回 Leçon 4 (1) être と avoir 第11回 Leçon 4 (2) 否定形 第12回 Leçon 4 (3) 疑問文に対する答え 第13回 Leçon 4 (4) 指示形容詞、筆記試験 第14回 Leçon 5 (1) 形容詞の位置 第15回 Leçon 5 (2) 形容詞の女性形						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題に真摯に取り組むこと。						
授業方法	文法事項の解説とドリル練習						
評価基準と評価方法	筆記試験85%、平常点15%						
教科書	『ル・フランセ』、新版、斉藤昌三著、白水社、ISBN4-560-06052-5						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IA						
担当教員	打田 素之						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の「しくみ」を学ぶ。						
授業の概要	フランス語文法の解説と実践練習						
到達目標	フランス語基礎文法の理解						
授業計画	第1回 フランス語の発音 第2回 Leçon 1 (1) 名詞の性と数 第3回 Leçon 1 (2) 不定冠詞 第4回 Leçon 1 (3) 部分冠詞 第5回 Leçon 2 (1) 定冠詞 第6回 Leçon 2 (2) 提示の表現 第7回 Leçon 3 (1) 主語認証代名詞 第8回 Leçon 3 (2) 規則動詞 第9回 Leçon 3 (3) 疑問形 第10回 Leçon 4 (1) être と avoir 第11回 Leçon 4 (2) 否定形 第12回 Leçon 4 (3) 疑問文に対する答え 第13回 Leçon 4 (4) 指示形容詞、筆記試験 第14回 Leçon 5 (1) 形容詞の位置 第15回 Leçon 5 (2) 形容詞の女性形						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題に真摯に取り組むこと。						
授業方法	文法事項の解説とドリル練習						
評価基準と評価方法	筆記試験85%、平常点15%						
教科書	『ル・フランセ』、新版、斉藤昌三著、白水社、ISBN4-560-06052-5						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IA						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法入門 フランス語を聞き、話し、書く上で最も必要とされる基本的な文法事項を学ぶ。フランス語の「しくみ」を習得することが目標。文法事項の説明のあと、それを明確に理解するために練習問題を解いてゆく。各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでゆく。 文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのための小テストも毎回行う。						
到達目標	基本的な動詞を使った文が理解でき、肯定文のみならず否定文、疑問文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：授業の進め方の説明。アルファベットの読み方とフランス語の筆記体の書き方。発音記号の読み方。 第2回：発音記号の読み方（つづき） 第3回：名詞の性と数 第4回：不定冠詞 第5回：部分冠詞 第6回：定冠詞 第7回：提示表現 第8回：規則動詞（その1） 第9回：規則動詞（その2） 第10回：疑問文 第11回：不規則動詞（その1） 第12回：否定文 第13回：疑問文に対する答え 第14回：指示形容詞 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書とノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。						
教科書	「新版 ル・フランセ」斎藤昌三著、白水社						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IA						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法入門 フランス語を聞き、話し、書く上で最も必要とされる基本的な文法事項を学ぶ。フランス語の「しくみ」を習得することが目標。文法事項の説明のあと、それを明確に理解するために練習問題を解いてゆく。各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでゆく。 文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのための小テストも毎回行う。						
到達目標	基本的な動詞を使った文を理解し、肯定文のみならず否定文、疑問文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：授業の進め方の説明。アルファベットの読み方とフランス語の筆記体の書き方。発音記号の読み方。 第2回：発音記号の読み方（つづき） 第3回：名詞の性と数 第4回：不定冠詞 第5回：部分冠詞 第6回：定冠詞 第7回：提示表現 第8回：規則動詞（その1） 第9回：規則動詞（その2） 第10回：疑問文 第11回：不規則動詞（その1） 第12回：否定文 第13回：疑問文に対する答え 第14回：指示形容詞 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回で進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書ノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。						
教科書	「新版 ル・フランセ」斎藤昌三著、白水社						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	打田 素之						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の「しくみ」を学ぶ。						
授業の概要	フランス語文法の解説と実践練習						
到達目標	フランス語基礎文法の理解						
授業計画	第1回 Leçon 5（3） 名詞と形容詞の複数形 第2回 Leçon 5（4） 冠詞 des の変化 第3回 Leçon 6（1） aller と venir 第4回 Leçon 6（2） 冠詞の縮約 第5回 Leçon 6（3） 形容詞の女性形2 第6回 Leçon 6（4） 疑問形容詞 第7回 Leçon 7（1） 不規則動詞1：faire, prendre など 第8回 Leçon 7（2） 命令形 第9回 Leçon 7（3） 所有形容詞 第10回 Leçon 8（1） 不規則動詞2：partir, vouloir など 第11回 Leçon 8（2） 比較級 第12回 Leçon 8（3） 最上級 第13回 Leçon 8（4） 特殊な比較・最上級、筆記試験 第14回 Leçon 9（1） 不規則動詞3：voir, dire など 第15回 Leçon 9（2） 複合過去1：avoir +過去分詞						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題に真摯に取り組むこと。						
授業方法	文法事項の解説とドリル練習						
評価基準と評価方法	筆記試験85%、平常点15%						
教科書	『ル・フランセ』、新版、斉藤昌三著、白水社、ISBN4-560-06052-5						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	打田 素之						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の「しくみ」を学ぶ。						
授業の概要	フランス語文法の解説と実践練習						
到達目標	フランス語基礎文法の理解						
授業計画	第1回 Leçon 5 (3) 名詞と形容詞の複数形 第2回 Leçon 5 (4) 冠詞 des の変化 第3回 Leçon 6 (1) aller と venir 第4回 Leçon 6 (2) 冠詞の縮約 第5回 Leçon 6 (3) 形容詞の女性形2 第6回 Leçon 6 (4) 疑問形容詞 第7回 Leçon 7 (1) 不規則動詞1 : faire, prendre など 第8回 Leçon 7 (2) 命令形 第9回 Leçon 7 (3) 所有形容詞 第10回 Leçon 8 (1) 不規則動詞2 : partir, vouloir など 第11回 Leçon 8 (2) 比較級 第12回 Leçon 8 (3) 最上級 第13回 Leçon 8 (4) 特殊な比較・最上級、筆記試験 第14回 Leçon 9 (1) 不規則動詞3 : voir, dire など 第15回 Leçon 9 (2) 複合過去1 : avoir + 過去分詞						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題に真摯に取り組むこと。						
授業方法	文法事項の解説とドリル練習						
評価基準と評価方法	筆記試験85%、平常点15%						
教科書	『ル・フランセ』、新版、斉藤昌三著、白水社、ISBN4-560-06052-5						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法入門 フランス語を聞き、話し、書く上で最も必要とされる基本的な文法事項を学ぶ。フランス語の「しくみ」を習得することが目標。文法事項の説明のあと、それを明確に理解するために練習問題を解いてゆく。各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでゆく。教科書の未修部分は、2年次で学習する。文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのための小テストも毎回行う予定である。						
到達目標	直説法現在だけでなく直説法複合過去の文も理解し、命令文や、形容詞、副詞の比較級最上級をとまなうより複雑な文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：前期試験の返却と解答。授業の進め方の説明。変則的な規則動詞の直説法現在。 第2回：形容詞の位置 第3回：形容詞の女性形（その1） 第4回：名詞・形容詞の複数形 第5回：不規則動詞（その1）、冠詞の縮約 第6回：形容詞の女性形（その2） 第7回：疑問形容詞、不規則動詞（その2） 第8回：命令形 第9回：所有形容詞 第10回：不規則動詞（その3）、形容詞・副詞の比較級 第11回：形容詞・副詞の最上級 第12回：不規則動詞（その2）、過去分詞 第13回：直説法複合過去 第14回：総復習 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書、ノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には5点程度加点する。						
教科書	新版 ル・フランセ 斎藤昌三著（白水社）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法入門 フランス語を聞き、話し、書く上で最も必要とされる基本的な文法事項を学ぶ。フランス語の「しくみ」を習得することが目標。文法事項の説明のあと、それを明確に理解するために練習問題を解いてゆく。各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでゆく。教科書の未修部分は、2年次で学習する。文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのための小テストも毎回行う予定である。						
到達目標	直説法現在だけでなく、直説法複合過去の文も理解し、命令文や、形容詞、副詞の比較級最上級をとまなうより複雑な文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：前期試験の返却と解答。授業の進め方の説明。変則的な規則動詞の直説法現在。 第2回：形容詞の位置 第3回：形容詞の女性形（その1） 第4回：名詞・形容詞の複数形 第5回：不規則動詞（その1）、冠詞の縮約 第6回：形容詞の女性形（その2） 第7回：疑問形容詞、不規則動詞（その2） 第8回：命令形 第9回：所有形容詞 第10回：不規則動詞（その3）、形容詞・副詞の比較級 第11回：形容詞・副詞の最上級 第12回：不規則動詞（その2）、過去分詞 第13回：直説法複合過去 第14回：総復習 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を用いて調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書、ノートを参考に解いておくこと、						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には5点程度加点する。						
教科書	新版 ル・フランセ 斎藤昌三著（白水社）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IC/French IC						
担当教員	岩本 篤子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の綴り字の読み方と簡単な会話文の習得						
授業の概要	フランス語の総合的な学習（聞く・話す・読む・書く）。同時に、綴り字の読み方の規則を覚える。小テストを頻繁に行う。						
到達目標	1. 初めて見るフランス語の単語や文章を正しく読めるようになること 2. 最初歩の会話文を身に付けること						
授業計画	第一回 0課 フランス語に親しむ 第二回 1課 国籍を言う 第三回 1課の続き 第四回 2課 名前・職業を言う 第五回 3課 持ち物を尋ねる 第六回 3課の続き 第七回 4課 趣味を語る 第八回 まとめの練習問題 第九回 5課 誰か尋ねる 第十回 6課 したいことを尋ねる 第十一回 7課 住んでいるところを言う 第十二回 7課の続き 第十三回 8課 何をしているかを尋ねる 第十四回 まとめの練習問題 第十五回 定期試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	新しく学んだことの復習と次回の小テストの準備						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	小テスト80% 定期試験20%						
教科書	パスカル・オ・ジャポン（藤田裕二著 白水社 978-4-560-06083-4）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IC/French IC						
担当教員	打田 素之						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語によるコミュニケーション能力の養成。						
授業の概要	日本に興味を持つフランス人の会話を通して重要表現を学ぶ。						
到達目標	フランス語で自己紹介と簡単な会話ができる。						
授業計画	第1回 第0課（1）フランス語の発音 第2回 第0課（2）挨拶の表現 第3回 第1課（1）Un jus de fruit, s'il vous plaît. 第4回 第1課（2）機内サービス 第5回 第2課（1）Je m'appelle Mika. 第6回 第2課（2）機内での会話1 第7回 第3課（1）Elle est acrice. 第8回 第3課（2）機内での会話2 第9回 第4課（1）Vous avez des bagages ? 第10回 第4課（2）パリを移動する 第11回 第5課（1）Quel est votre nom ? 第12回 第5課（2）ホテルにチェックイン。発音試験1 第13回 第6課（1）J'aime beaucoup la peinture. 発音試験2 第14回 第6課（2）好きなことについて話す。筆記試験 第15回 試験の解答と前期のまとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題に真摯に取り組むこと。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	筆記試験70%、発音試験15%、平常点15%						
教科書	『フランス語でサバイバル!』、改訂版、内村留美子他著、白水社、ISBN978-4-560-06090-2						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IC/French IC						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。 今学期は基本的な表現を用いて、自分や他人について語るができるようになることを目指す。 また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って挨拶や簡単な自己紹介、他人の情報を尋ねることができるようになる。また、発音と綴りの関係を学習することによって、フランス語文を正しく音読できるようになる。						
授業計画	第1回：授業の説明, Leçon 0：あいさつ表現、0～20の数 第2回：Leçon 1：名詞の性・数（1）。買い物のやり取り 第3回：Leçon 0-1の復習 第4回：Leçon 2：規則動詞の活用、否定文。名前・住んでいるところを尋ねる・答える 第5回：Leçon 2, 3：さまざまな規則動詞、不規則動詞 être。話せる言語、日々の活動について語る 第6回：Leçon 3：名詞の性・数（2）。国籍、職業を語る 第7回：Leçon 4：不規則動詞 avoir、不定冠詞。持ち物について語る 第8回：Leçon 4, 5：定冠詞。年齢、好みを語る 第9回：Leçon 5：好みを語る（続き）、21～60の数 第10回：Leçon 6：所有形容詞。第三者について語る 第11回：Leçon 2-6の復習 第12回：Leçon 7：形容詞（1）。物や人を描写する 第13回：Leçon 8：形容詞（2）。服装、持ち物を描写する 第14回：まとめと筆記試験 第15回：質疑応答と口頭試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（筆記試験、口頭試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』伊勢晃・谷口千賀子 著、早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IC/French IC						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。 今学期は基本的な表現を用いて、自分や他人について語るができるようになることを目指す。 また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って挨拶や簡単な自己紹介、他人の情報を尋ねることができるようになる。また、発音と綴りの関係を学習することによって、フランス語文を正しく音読できるようになる。						
授業計画	第1回：授業の説明, Leçon 0：あいさつ表現、0～20の数 第2回：Leçon 1：名詞の性・数（1）。買い物のやり取り 第3回：Leçon 0-1の復習 第4回：Leçon 2：規則動詞の活用、否定文。名前・住んでいるところを尋ねる・答える 第5回：Leçon 2, 3：さまざまな規則動詞、不規則動詞 être。話せる言語、日々の活動について語る 第6回：Leçon 3：名詞の性・数（2）。国籍、職業を語る 第7回：Leçon 4：不規則動詞 avoir、不定冠詞。持ち物について語る 第8回：Leçon 4, 5：定冠詞。年齢、好みを語る 第9回：Leçon 5：好みを語る（続き）、21～60の数 第10回：Leçon 6：所有形容詞。第三者について語る 第11回：Leçon 2-6の復習 第12回：Leçon 7：形容詞（1）。物や人を描写する 第13回：Leçon 8：形容詞（2）。服装、持ち物を描写する 第14回：まとめと筆記試験 第15回：質疑応答と口頭試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（筆記試験、口頭試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』伊勢晃・谷口千賀子 著、早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	岩本 篤子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の綴り字の読み方と簡単な会話文の習得						
授業の概要	フランス語の総合的な学習（聞く・話す・読む・書く）。同時に、綴り字の読み方の規則を覚える。小テストを頻繁に行う。						
到達目標	1. 初めて見るフランス語の単語や文章を正しく読めるようになること 2. 最初歩の会話文を身に付けること						
授業計画	第一回 前期テスト答え合わせ 第二回 綴り字読み方復讐 第三回 9課年齢を言う 第四回 9課の続き 第五回 10課 家族を語る 第六回 10課の続き 第七回 11課 誘う 第八回 まとめの練習問題 第九回 12課 日常生活の表現 第十回 12課の続き 第十一回 13課 近い未来の表現 第十二回 13課の続き 第十三回 14課 紹介する 第十四回 まとめの練習問題 第十五回 定期試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	新しく学んだことの復習と次回の小テストの準備						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	小テスト80% 定期試験20%						
教科書	パスカル・オ・ジャポン（藤田裕二著 白水社 978-4-560-06083-4）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	打田 素之						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語によるコミュニケーション能力の養成						
授業の概要	旅行の現場で実際に必要とされる表現を学ぶ。						
到達目標	フランス語で簡単な会話ができる。						
授業計画	第1回 第7課（1）Où est la banque ? 第2回 第7課（2）道を尋ねる 第3回 第8課（1）On va faire du shopping. 第4回 第8課（2）カフェで 第5回 第9課（1）Le prochain train part à quelle heure ? 第6回 第9課（2）列車で郊外へ行く 第7回 第10課（1）Il pleut. 第8回 第10課（2）雨が降っています 第9回 第11課（1）J'aime mieux le tennis. 第10回 第11課（2）比較をする 第11回 第12課（1）Ça me plaît beaucoup. 第12回 第12課（2）買い物をする 第13回 第13課（1）On est monté sur la Tour Eiffel. 第14回 第13課（2）帰りの飛行機で 第15回 試験の解答と前期のまとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題に真摯に取り組むこと。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	筆記試験70%、発音試験15%、平常点15%						
教科書	『フランス語でサバイバル!』、改訂版、内村留美子他著、白水社、ISBN978-4-560-06090-2						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。今学期はさらに表現を増やしつつ、日々の行動や過去の出来事を語るができるようになることを目指す。また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って、日常生活や過去の行為・出来事について語る、尋ねることができるようになる。						
授業計画	第1回 前期の復習 第2回 Leçon 9：場所の前置詞、縮約。行き先を語る 第3回 Leçon 10：交通手段、理由を語る 第4回 Leçon 11：場所の前置詞。さまざまな物の位置関係を語る 第5回 Leçon 12：命令文。道順を言う 第6回 Leçon 9-12の復習 第7回 Leçon 13：部分冠詞。食べるもの・飲むものを言う 第8回 Leçon 14：代名動詞、時間。一日の生活を語る 第9回 Leçon 14, 15：さまざまな不規則動詞。複合過去形(1)。一日の生活を語る、1000までの数 第10回 Leçon 15, 16：複合過去形(2)。過去の出来事を語る 第11回 Leçon 16：複合過去形否定文。過去の出来事を語る 第12回 Leçon 13-16の復習 第13回 Leçon 17：半過去形。過去の状況を語る 第14回 Leçon 18：複合過去形と半過去形。物・事柄を評価する、飲食店でのやり取り 第15回 まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて、文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題や提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』伊勢晃・谷口千賀子 著、早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。今学期はさらに表現を増やしつつ、日々の行動や過去の出来事を語るができるようになることを目指す。また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って、日常生活や過去の行為・出来事について語る、尋ねることができるようになる。						
授業計画	第1回 前期の復習 第2回 Leçon 9：場所の前置詞、縮約。行き先を語る 第3回 Leçon 10：交通手段、理由を語る 第4回 Leçon 11：場所の前置詞。さまざまな物の位置関係を語る 第5回 Leçon 12：命令文。道順を言う 第6回 Leçon 9-12の復習 第7回 Leçon 13：部分冠詞。食べるもの・飲むものを言う 第8回 Leçon 14：代名動詞、時間。一日の生活を語る 第9回 Leçon 14, 15：さまざまな不規則動詞。複合過去形(1)。一日の生活を語る、1000までの数 第10回 Leçon 15, 16：複合過去形(2)。過去の出来事を語る 第11回 Leçon 16：複合過去形否定文。過去の出来事を語る 第12回 Leçon 13-16の復習 第13回 Leçon 17：半過去形。過去の状況を語る 第14回 Leçon 18：複合過去形と半過去形。物・事柄を評価する、飲食店でのやり取り 第15回 まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて、文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題や提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』伊勢晃・谷口千賀子 著、早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIA						
担当教員	川口 陽子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語初級文法の完成						
授業の概要	フランス語IBの授業を引継ぎ、基本的な文法を学び、フランス語の「しくみ」を習得することが目標です。文法事項の説明の後、それを明確に理解するために練習問題を行います。全員理解を目指して、各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでいきます。教科書の未修部分はフランス語IIBで学習します。						
到達目標	フランス語の基本的な代名詞（関係代名詞、疑問代名詞、人称代名詞〔主語・直接目的・間接目的・強勢形〕、指示代名詞、再帰代名詞、中性代名詞）を学習し、簡潔なフランス語で表現できるようになります。また、現在・過去に加え未来の表現も学び、現在・過去・未来においてすること・したこと・する予定のことを表現できるようになります。						
授業計画	第1回 フランス語IBの復習：複合過去 第2回 第10課：関係代名詞 第3回 第10課：疑問代名詞 第4回 第11課：人称代名詞 第5回 第11課：直接目的補語と過去分詞の一致 第6回 第12課：受動態 第7回 第12課：指示代名詞、強調構文 第8回 第13課：代名動詞現在 第9回 第13課：代名動詞複合過去 第10回 第13課：非人称構文 第11回 第14課：単純未来 第12回 第14課：前未来 第13回 第14課：中性代名詞 第14回 まとめと試験 第15回 まとめと復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：前回の授業での説明を踏まえて、練習問題にまず各自で取り組んでください。そして授業中は自分の理解度を把握するように努め、その中で見えてきた疑問点は放置せず、必ず質問してください。 授業後学習：練習問題や小テストで間違えた問題・自信がなかった問題を復習してください。教科書やノートを読み直しても分かり難いところは放置せず、必ず質問してください。また、教科書の例文や練習問題を何度も音読し、フランス語の文に慣れるようにしてください。						
授業方法	講義と演習を並行して行います。出席者全員の理解を目指して、毎回小テストを行います。						
評価基準と評価方法	平常点50%（特に小テスト）、学期末試験50%						
教科書	『《新版》ル・フランセ』 齊藤昌三、白水社、2001年 ISBN 978-4-560-06052-0 C3085						
参考書	必要に応じて指示します。						

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIA						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法の完成 昨年度から継続して、第10課より始める。文法説明以外に、フランス語らしく読めるよう指導もする。またそのための小テストも毎回行なう。						
到達目標	代名動詞の文や非人称構文の文だけでなく、関係代名詞、人称代名詞をともなった複雑な文をも理解し、直説法単純未来という新たな時制の文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：昨年度の試験を返却し、解答する。授業の進め方の説明。関係代名詞（その1） 第2回：関係代名詞（その2） 第3回：疑問代名詞（その1） 第4回：疑問代名詞（その2） 第5回：人称代名詞（その1） 第6回：人称代名詞（その2） 第8回：強勢形人称代名詞 第9回：受動態 第10回：指示代名詞 第11回：強調構文 第12回：代名動詞 第13回：非人称構文 第14回：直説法単純未来、前未来 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書、ノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には5点程度加点する。						
教科書	新版 ル・フランセ 斎藤昌三著（白水社）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIB						
担当教員	川口 陽子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語初級文法の完成						
授業の概要	フランス語IIAの授業を引継ぎ、基本的な文法を学び、フランス語の「しくみ」を習得することが目標です。文法事項の説明の後、それを明確に理解するために練習問題を行います。全員理解を目指して、各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでいきます。						
到達目標	過去の状態・習慣の表現を学び、さらに豊かに過去について表現できるようになります。さらには、仮定の世界での表現（条件法）、従属節を用いた表現（接続法）も学び、より複雑なフランス語の表現もできるようになります。書き言葉で用いる活用（単純過去・前過去）を理解することにより、様々な資料を読むことが可能となります。						
授業計画	第1回 フランス語IIAの復習 第2回 第15課：半過去 第3回 第15課：大過去 第4回 第15課：前置詞＋関係代名詞 第5回 第16課：条件法現在 第6回 第16課：条件法過去 第7回 第16課：現在分詞、ジェロンディフ 第8回 第17課：単純過去 第9回 第17課：前過去 第10回 第17課：直接話法と間接話法 第11回 第18課：接続法現在 第12回 第18課：接続法過去 第13回 第18課：所有代名詞 第14回 まとめと試験 第15回 まとめと復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：前回の授業での説明を踏まえて、練習問題にまず各自で取り組んでください。そして授業中は自分の理解度を把握するように努め、その中で見えてきた疑問点は放置せず、必ず質問してください。 授業後学習：練習問題や小テストで間違えた問題・自信がなかった問題を復習してください。教科書やノートを読み直しても分かり難いところは放置せず、必ず質問してください。また、教科書の例文や練習問題を何度も音読し、フランス語の文に慣れるようにしてください。						
授業方法	講義と演習を並行して行います。出席者全員の理解を目指して、毎回小テストを行います。						
評価基準と評価方法	授業内評価50%（特に小テスト）、学期末試験50%						
教科書	『《新版》ル・フランセ』 齊藤昌三、白水社、2001年 ISBN 978-4-560-06052-0 C3085						
参考書	必要に応じて指示します。						

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法の完成 フランス語文法をひとつおわり終えることを目指す。文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのための小テストも毎回行う。						
到達目標	さまざまな時制の文を理解し、中性代名詞をとこなう文や、現在分詞やジェロンディフの使われた文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：前期試験を返却して解答する。授業の進め方の説明。中性代名詞le。 第2回：中性代名詞en 第3回：中性代名詞y 第4回：直説法半過去 第5回：直説法大過去 第6回：前置詞に先行される関係代名詞 第7回：条件法現在 第8回：条件法過去 第9回：現在分詞 第10回：ジェロンディフ 第11回：間接話法（その1） 第12回：間接話法（その2） 第13回：接続法現在・過去 第14回：所有代名詞 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書、ノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には、5点程度加点する。						
教科書	新版 ル・フランセ 斎藤昌三著（白水社）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIC/French IIC						
担当教員	釣 馨						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を聞いたり、読んだり、話したりする力をつける：						
授業の概要	1年に渡って、コミュニケーション能力の基礎を固めながら応用力をつけることを目指します。初級文法の基本項目も復習しながら授業を進めますので、忘れてしまった学生さんも安心して受講してください。テキストを使用せずに、随時プリントを配布します。前期は読み方や聞き取りを重点的にやります。途中、簡単な確認の試験や口答試験もやります。仏検などの練習問題や映画の教材も取り入れていくつもりです。						
到達目標	仏検5級レベルの力を確実につける。またフランス語で自己紹介や身近なことを表現できるようにする。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション&アンケート 2. 仏検問題で復習(1) 3. 仏検問題で復習(2) 4. 仏検問題で復習(3) 5. 仏検問題で復習(4)、確認テスト 6. フランス語で自分のことを説明する(1) 7. フランス語で自分のことを説明する(2) 8. フランス語で自分のことを説明する(3) 9. 口頭テスト 10. 映画教材「WASABI」 11. 映画教材「WASABI」 12. 映画教材「WASABI」 13. 試験対策プリント 14. 期末テスト 15. テスト返却、見直し 						
授業外における学習（準備学習の内容）	練習問題や映画のシナリオは次回進む部分をあらかじめ調べてくること。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	出席を含めた平常点(20%)と小テスト(20%)、期末試験(60%)で総合的に評価します。						
教科書	随時プリントを配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIC/French IIC						
担当教員	宮川 文子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語によるコミュニケーション						
授業の概要	フランス語による基本的なコミュニケーション能力と、さらには応用力を養うことを目指す。具体的には、初級フランス語で学んだ動詞の復習をしつつ基本表現を確実に定着させ、その上で、テーマに関連する語彙を習得して応用表現もできるように配慮する。						
到達目標	自分について、日常生活の出来事について、フランス語で話し、聞き、書くことができるようになる。日常的な状況において、基本的な会話ができるようになる。						
授業計画	第1週 授業について説明する。日本語とフランス語の関係をみる。 第2週 第1課：挨拶をする。自分や他の人を紹介する。 第3週 第1課：ミニ会話。職業、国籍に関する語彙を習得する。 第4週 第2課：人を映画に誘う。同意と拒否の表現。 第5週 第2課：ミニ会話。色、果物、家族に関する語彙を習得する。 第6週 第3課：電話で話す。招待する。時刻の表現。 第7週 第3課：ミニ会話。時刻、月、曜日に関する語彙を習得する。 第8週 第4課：誕生日を祝う。お祝いの挨拶。 第9週 第4課：ミニ会話。場所を表す前置詞、住まいに関する語彙を習得する。 第10週 第5課：ヴァカンスの計画。天候を表す表現。 第11週 第5課：ミニ会話。天候、季節に関する語彙を習得する。 第12週 総復習 第13週 質疑応答と定期試験 第14週 試験の返却と解説 第15週 質疑応答と再テスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	・街で見かけるフランス語を探してみる ・時間があればフランス映画を見る ・フランス料理を食べに行き、店の人にことわった上でメニューやレシピなどを写し、フランス語を調べてみる						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	平常点（小テスト、宿題）30%、定期試験70%によって総合的に評価する						
教科書	『新アンパロール』 阿南婦美代他（早美出版社）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IID/French IID						
担当教員	釣 馨						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を聞いたり、話したりする総合的な力をつける						
授業の概要	後期からは本格的に映画のシナリオを導入します。映画のシーンを使ってフランス語を学ぶ利点は、フランス語が話される現場に立ち会えることです。どんなフランス語が、どのような状況で話されているのか考察し、そこで使われている表現を実際に使ってみましょう。授業はテキストを使用せず、随時プリントを配布します。						
到達目標	映画を通して、フランス語のスムーズな読み、フランス語の基本的な表現を身につける。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仏検問題で復習(1) 2. 仏検問題で復習(2) 3. 仏検問題で復習(3) 4. 小テスト、映画「アメリ」(1) 5. 映画「アメリ」(2) 6. 映画「アメリ」(3) 7. 映画「アメリ」(4) 8. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(1) 9. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(2) 10. 映画「ハウルの動く城、仏語音声」(1) 11. 映画「ハウルの動く城、仏語音声」(2) 12. 映画「パリ、ジュテーム」(1) 13. テスト対策プリント 14. 期末テスト 15. テスト返却、見直し 						
授業外における学習（準備学習の内容）	練習問題や映画のシナリオは次に進む部分をあらかじめ調べてくる。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	出席を含めた平常点(シナリオの訳を担当してもらいます、40%)と期末試験(60%)で総合的に評価します。						
教科書	随時プリントを配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IID/French IID						
担当教員	宮川 文子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語によるコミュニケーション						
授業の概要	フランス語による基本的なコミュニケーション能力と、さらには応用力を養うことを目指す。具体的には、初級フランス語で学んだ動詞の復習をしつつ基本表現を確実に定着させ、その上でテーマに関連する語彙を習得して、応用表現もできるように配慮する。						
到達目標	自分について、日常生活の出来事について、フランス語で話し、聞き、書くことができるようになる。日常的な状況において、基本的な会話ができるようになる。						
授業計画	第1週 授業について説明する。 第2週 第6課：食料品店で買い物をする。 第3週 第6課：ミニ会話。体の状態（avoirを使った）、食品に関する語彙を習得する。 第4週 第7課：テニスのレッスンを受けた体験を語る。 第5週 第7課：ミニ会話。スポーツに関する語彙を習得する。 第6週 第8課：事故にあった体験を語る。 第7週 第8課：ミニ会話。体の調子を表す表現を習得する。 第8週 第9課：デパートで買い物をした体験を語る。 第9週 第9課：ミニ会話。衣服に関する語彙を習得する。 第10週 第10課：旅行の計画を語る。 第11週 第10課：ミニ会話。旅行で使われる表現、語彙を習得する。 第12週 総復習 第13週 質疑応答と定期試験 第14週 試験の返却と解説 第15週 質疑応答と再テスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	・街で見かけるフランス語を探してみる ・時間があれば、フランス映画を見る ・フランス料理を食べに行き、店の人にことわった上でメニューやレシピなどを写し、フランス語を調べてみる						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	平常点（小テスト、宿題）30%、定期試験70%によって総合的に評価する						
教科書	『新アンパロール』 阿南婦美代他（早美出版社）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIE						
担当教員	単位認定者：木谷吉克						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	1～4	単位数	2.0
授業のテーマ	フランス語を聞き取り、フランス語で話す力を養成する。						
授業の概要	フランス人講師のもとで、いっさい日本語をまじえずにフランス語を学習する。CALL教室での発音矯正の授業、2、3人で組んでスケッチを演ずる授業もある。						
到達目標	知っているフランス語の表現を駆使して、日常のさまざまな場面でフランス語でなんとかコミュニケーションを成立させることのできる力、その場を切り抜けていく力をつけることを目標とする。						
授業計画	基本は教科書を使って、文法や日常の場面で使われる表現を練習していく。また適宜副教材を使ってゲーム感覚でフランス語を楽しく学べる工夫もなされる。授業は60分の授業が午前と午後にそれぞれ2回ずつ行なわれる。そのうち1回はCALL教室で行なわれる。期間は8月6日から24日までの月曜日から金曜日までである。						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回宿題が出るので、必ずしておかなければならない。次の日の授業の予習も欠かさずしておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	授業への参加度、何度か行なわれる小テストなどによって総合的に評価する。						
教科書	初回授業時に教科書が渡される。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIF						
担当教員	単位認定者：木谷吉克						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	1～4	単位数	2.0
授業のテーマ	フランス語を聞き取り、フランス語で話す力を養成する。						
授業の概要	フランス人講師のもとで、いっさい日本語をまじえずにフランス語を学習する。CALL教室での発音矯正の授業、2、3人で組んでスケッチを演ずる授業もある。						
到達目標	知っているフランス語の表現を駆使して、日常のさまざまな場面でフランス語でなんとかコミュニケーションを成立させることのできる力、その場を切り抜けていく力をつけることを目標とする。						
授業計画	基本は教科書を使って、文法や日常の場面で使われる表現を練習していく。また適宜副教材を使ってゲーム感覚でフランス語を楽しく学べる工夫もなされる。授業は60分の授業が午前と午後にそれぞれ2回ずつ行なわれる。そのうち1回はCALL教室で行なわれる。期間は8月6日から24日までの月曜日から金曜日までである。						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回宿題が出るので、必ずしておかなければならない。次の日の授業の予習も欠かさずしておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	授業への参加度、何度か行なわれる小テストなどによって総合的に評価する。						
教科書	初回授業時に教科書が渡される。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ⅢⅠA						
担当教員	野口 一浩						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	仏作文を楽しく、興味深くマスターする						
授業の概要	教科書の内容にのっとりフランス語の作文を学んでいきますが、ほとんどの例文が日常でもよく使える文章であるため、最終的には簡単な日常会話の習得にもつなげたいと思います。ライティングとしてケアレスミスを取りなくなくし、それを会話と連携させることが主眼です。短期でフランスに留学したとしても恥ずかしくないレベルの内容を学びたいと思います。毎回、学生たちに黒板に書いてもらい、私のほうで添削します。お互いにフランスに興味をさらに持って学びましょう。（毎回、教科書のExの問題に対応できるように、予習プリントを配布します）						
到達目標	教科書の内容の文章はすべてしっかり書けるようにして、さらに身近な日常表現にもつなげていくこと。微妙なフランス語のニュアンスを識別し、文化背景についても知ることができます。						
授業計画	第1回 オリエンテーション、およびLesson 1 etreの予習プリントをうめる 第2回 L1の予習プリント、L1のEx. 第3回 L2の予習プリント 第4回 L2のEx. 第5回 L3の予習プリント 第6回 L3のEx. 第7回 L4の予習プリント 第8回 L4のEx. 第9回 L5の予習プリント 第10回 L5のEx. 第11回 総復習（L1-L2） 第12回 総復習（L3-L4） 第13回 総復習（L5） 第14回 質疑応答と授業、本試験 第15回 答案返却と授業						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：配布される予習プリントをうめてくること。これにより、難解なEx.の問題が解きやすくなります。家では約1時間は予習をすること。特に辞書をよくひいてください。 授業後学習：授業のあと、返却された小テストの反省をしてください。毎回小テストはありますので、その時にわからないことを解消しないと、不明な部分が蓄積されてしまいます。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験60%、課題および小テスト40%						
教科書	「基本動詞によるやさしいテーマ」（改訂版）、著者：青井 明、白水社、ISBN978-4-560-06050-6						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ⅡIB						
担当教員	野口 一浩						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	3～4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の作文を楽しく、また興味深くマスターする。						
授業の概要	前期で学んだフランス語表現をさらにここで発展させ、より次元の高い表現に挑戦する。教科書にそって進むが、学生の興味やレベルをみながら、各自でオリジナルな作文会話集を作ってもらおうことを考えている。これは教科書のフランス語表現の習得からさらに高みにのぼり、自分の想像力を駆使してあるシーンやストーリーを創作する作業である。毎年実践している。予習として、予習プリントを配布している。これは教科書のレベルの高いEX.問題に興味を持って対応し、できるだけ別解も多く作ることができるようにするためである。						
到達目標	フランス語表現をただ受動的にマスターするのではなく、自分が積極的にオリジナルのストーリーを作りながら、生きた表現を学ぶことができる。もちろん簡単な日常表現もたくさんつまっているため、同時に会話の初歩にも手をひろげることができる。						
授業計画	第1回 オリエンテーション、L6の予習プリントをうめる 第2回 L6のEx.を学ぶ 第3回 L7の予習プリントを完成 第4回 L7のEx.を学ぶ 第5回 L8の予習プリントを完成 第6回 L8のEx.を学ぶ 第7回 L9の予習プリントを完成 第8回 L9のEx.を学ぶ 第9回 L10の予習プリントを完成 第10回 L10のEx.を学ぶ 第11回 L6・L7の総復習 (mettre/pouvoirの用法再確認) 第12回 L8・L9の総復習 (prendre/falloirの用法再確認) 第13回 L10の総復習 (arriverの用法を再確認) 第14回 授業・質疑応答と本試験 第15回 授業・質疑応答と答案返却・解説						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前：配布される予習プリントを完成させ、辞書で未知の単語や熟語をしらべておく。（約1時間） 授業後：毎回実施される小テストの見直しと反省。これは毎回行わないと、理解していない部分が蓄積して本試験に悪影響をあたえることになる。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験60％・小テストと課題で40％						
教科書	「基本動詞によるやさしいテーマ」著者：青井 明、白水社、ISBN978-4-560-06050-6						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIIC/French IIIC						
担当教員	C. Cherasse						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランスの日常生活						
授業の概要	<p>話す：まず自己表現できるように重視し、発音、音声、ナレーション、論証の流暢さを学びます。 リスニング：本物のドキュメントで耳から触れ フランス語により慣れることも重視します。 異なる種類のドキュメント読んで レビューや文法構造とスタイルを学びます。</p>						
到達目標	フランス語の能力を強化し、開発（口頭および書面による）						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) 自己紹介・評価方法について 2) 基本会話・ポキャブラリー1 3) 基本会話・ポキャブラリー2 4) 基本会話・ポキャブラリー3 5) フランスを知る・ポキャブラリー1 6) 描写 7) フランスを知る・ポキャブラリー2 8) 比較 9) フランスを知る・ポキャブラリー3 10) 自分の意見を述べる 11) フランスを知る・ポキャブラリー4 12) 相手を説得する 13) フランスを知る・ポキャブラリー5 14) 意見を述べる際の表現 15) 学期末テスト・要点確認 						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>学生は、研究語彙や文法のためにノートをとるようにして下さい。 学生のノートを定期的にチェックし、理解不足な部分は指導します。</p>						
授業方法	<p>テキストを使い簡単なフレーズを翻訳してみる。 日本語とフランス語の微妙なニュアンスの違いを探る。 翻訳する上での効率的かつ効果的な辞書の使い方を学ぶ。</p>						
評価基準と評価方法	<p>宿題35% 授業への参加度25% 授業の理解度40%</p>						
教科書	コピーした資料を配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIID/French IIID						
担当教員	C. Cherasse						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランスの日常生活						
授業の概要	<p>話す：まず自己表現できるように重視し、発音、音声、ナレーション、論証の流暢さを学びます。 リスニング：本物のドキュメントで（ラジオやテレビ放送、インタビュー、オーディオなど）耳から触れ フランス語により慣れることも重視します。 異なる種類のドキュメント読んで（記事、手紙、小説などから抽出します。） レビューや文法構造とスタイルを学びます。</p>						
到達目標	フランス語の能力を強化し、開発（口頭および書面による）						
授業計画	1) フランスを知る 1・ボキャブラリー 2) フランスを知る 2・ボキャブラリー 3) フランスを知る 3・ボキャブラリー 4) フランスを知る 4・ボキャブラリー 5) フランスを知る 5・ボキャブラリー 6) フランスを知る 6・ボキャブラリー 7) フランスを知る 7・ボキャブラリー 8) フランスを知る 8・ボキャブラリー 9) フランスを知る 9・ボキャブラリー 10) フランスを知る 10・ボキャブラリー 11) フランスを知る 11・ボキャブラリー 12) フランスを知る 12・ボキャブラリー 13) フランスを知る 13・ボキャブラリー 14) フランスを知る 14・ボキャブラリー 15) 学期末テスト・要点確認						
授業外における学習（準備学習の内容）	学生は、研究語彙や文法のためにノートをとるようにして下さい。 学生のノートを定期的にチェックし、理解不足な部分は指導します。						
授業方法	会話及び討論の中からフランス語の構成を学ぶ。 考えを順序立てて整頓された文を構成する。 自分で文章を作り編集する。						
評価基準と評価方法	宿題35% 授業への参加度25% 授業の理解度40%						
教科書	コピーした資料を配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語III E						
担当教員	単位認定者：木谷吉克						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	1～4	単位数	2.0
授業のテーマ	フランス語を聞き取り、フランス語で話す力を養成する。						
授業の概要	フランス人講師のもとで、いっさい日本語をまじえずにフランス語を学習する。CALL教室での発音矯正の授業、2、3人で組んでスケッチを演ずる授業もある。						
到達目標	知っているフランス語の表現を駆使して、日常のさまざまな場面でフランス語でなんとかコミュニケーションを成立させることのできる力、その場を切り抜けていく力をつけることを目標とする。						
授業計画	基本は教科書を使って、文法や日常の場面で使われる表現を練習していく。また適宜副教材を使ってゲーム感覚でフランス語を楽しく学べる工夫もなされる。授業は60分の授業が午前と午後にそれぞれ2回ずつ行なわれる。そのうち1回はCALL教室で行なわれる。期間は8月6日から24日までの月曜日から金曜日までである。						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回宿題が出るので、必ずしておかなければならない。次の日の授業の予習も欠かさずしておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	授業への参加度、何度か行なわれる小テストなどによって総合的に評価する。						
教科書	初回授業時に教科書が渡される。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語研修						
担当教員	単位認定者：打田素之						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	2～4	単位数	2.0
授業のテーマ	フランスでフランス語を学ぶ。						
授業の概要	3週間に渡るフランス語研修旅行。最初の2週間は南仏のモンペリエに滞在して、現地の語学学校でフランス語を学ぶ。最後の1週間はパリに移動して、フランス語の実践能力を養う。						
到達目標	実践的なフランス語能力の養成とフランス文化の理解。						
授業計画	8月27日（月）：関西空港出発 28日（火）：モンペリエにて語学研修 開始 9月7日（金）：モンペリエでの語学研修 終了 8日（土）：パリ研修開始 15日（土）：パリ研修終了 16日（日）：関西空港に帰国 *上記の日程は変更されることがあります。詳しいことは、国際交流センターに問い合わせること。						
授業外における学習（準備学習の内容）	モンペリエでは午後が、パリでは1週間がまるまる自由研修の時間となります。この間、できるだけ時間を有効に使って、フランス語とフランス文化を吸収すること。						
授業方法	語学学校での授業＋現地での見学＋自由研修						
評価基準と評価方法	語学学校での成績（50%）＋現地での活動点（50%）						
教科書							
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語コミュニケーションA/French Communication A						
担当教員	C. Cherasse						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	3	単位数	1.0
授業のテーマ	フランスの文化と文明						
授業の概要	ビデオその他の教材を用いて、フランス語でのコミュニケーション能力を高める						
到達目標	フランスとフランス語の独特な文化や時代の流れ（ニュース、多様性、機能、社会、文化）を取り上げ関心を高め、かつ理解を深められるような講義をします。						
授業計画	1) 自己紹介・評価方法について 2) 実践練習 3) 雑誌・新聞記事1・ポキャブラリー・文法 4) 記事・問題点の分析 5) 文書の創作・ 6) 雑誌・新聞記事2・ポキャブラリー・文法 7) 記事・問題点の分析 8) 文書の創作・ 9) 雑誌・新聞記事3・ポキャブラリー・文法 10) 記事・問題点の分析 11) 文書の創作・ 12) リスニング・ライティング・ 13) 文書の創作・ 14) リスニング・ライティング・ 15) 学期末テスト・要点確認						
授業外における学習（準備学習の内容）	学生は、研究語彙や文法のためにノートをとるようにして下さい。 学生のノートを定期的にチェックし、理解不足な部分は指導します。						
授業方法	ビデオや書かれたテキストを使い、グループや個人による訓練をとって、フランス語で自分の意見を述べたり論争する能力を養う。学生はフランス語の資料を読んだり、口頭発表することを求められる。						
評価基準と評価方法	宿題35% 授業への参加度25% 授業の理解度40%						
教科書	コピーした資料を配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語コミュニケーションB/French Communication B						
担当教員	C. Cherasse						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	3	単位数	1.0
授業のテーマ	フランスの文化と文明						
授業の概要	ビデオその他の教材を用いて、フランス語でのコミュニケーション能力を高める						
到達目標	フランスとフランス語の独特な文化や時代の流れ（ニュース、多様性、機能、社会、文化）を取り上げ関心を高め、かつ理解を深められるような講義をします。						
授業計画	1) 文書の創作 2) リスニング・ライティング 3) 雑誌・新聞記事1・ポキャブラリー・文法 4) 記事・問題点の分析 5) 文書の創作 6) 雑誌・新聞記事2・ポキャブラリー・文法 7) 記事・問題点の分析 8) 文書の創作 9) 雑誌・新聞記事3・ポキャブラリー・文法 10) 記事・問題点の分析 11) 文書の創作 12) リスニング・ライティング 13) 文書の創作 14) リスニング・ライティング 15) 学期末テスト・要点確認						
授業外における学習（準備学習の内容）	学生は、研究語彙や文法のためにノートをとるようにして下さい。 学生のノートを定期的にチェックし、理解不足な部分は指導します。						
授業方法	ビデオや書かれたテキストを使い、グループや個人による訓練をとおして、フランス語で自分の意見を述べたり論争する能力を養う。学生はフランス語の資料を読んだり、口頭発表することを求められる。						
評価基準と評価方法	宿題35% 授業への参加度25% 授業の理解度40%						
教科書	コピーした資料を配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	やさしいフランス語会話A/French Conversation for Beginner						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	これまでに学習したことを元にして、フランス語を話す・聞く能力のさらなる向上を目指す。フランス語の運用能力を高めるためには少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためにこのクラスでは授業中の質疑応答など、できる限りフランス語を用いて授業を進める予定である。また、言葉だけでなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	1) 自分や他人について、語る・尋ねる、2) 日常生活について語る・尋ねる、をテーマにフランス語で話し、聞く能力を身につけることを目標とする。また、教室内で用いる指示の表現や質問の仕方も学習する。						
授業計画	第1回：授業の説明。教室で使う表現。1-1 自分・相手・第三者の名前、国籍、出身地、0～10 第2回：1-1 自分・相手・第三者の名前、国籍、出身地、0～10（続き） 第3回：1-2 国籍、住んでいるところ、11～60、値段、年齢 第4回：1-3 職業、言語、61～1000、電話番号 第5回：1-4 好き嫌い、1001～10000、年号 第6回：復習と文法のまとめ 第7回：2-1 月曜から日曜まで 第8回：2-2 起きてから寝るまで 第9回：2-2 起きてから寝るまで（続き） 第10回：2-3 すること、しないこと 第11回：2-3 すること、しないこと（続き） 第12回：2-4 すでにしたこと、週末にしたこと 第13回：2-4 すでにしたこと、週末にしたこと（続き） 第14回：復習と文法のまとめ 第15回：質疑応答と最終試験（口頭・筆記）						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所を目を通しておくこと（具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する文法や表現・単語を確認したあと、教師と学生・学生同士などで口頭練習を行いながら知識の定着をはかる。 授業中の質疑応答などは、できる限りフランス語を用いて行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（口頭試験・筆記試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『フランス語2020』中川 努他 著、白水社 ISBN978-4-560-06105-3						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	やさしいフランス語会話B/French Conversation for Beginner						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	これまでに学習したことを元にして、フランス語を話す・聞く能力のさらなる向上を目指す。フランス語の運用能力を高めるためには少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためにこのクラスでは授業中の質疑応答など、できる限りフランス語を用いて授業を進める予定である。また、言葉だけでなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	1) 過去のことを話す・尋ねる、2) 描写する、意見を言う、欲求を伝える、働きかける、をテーマにフランス語で話し、聞く能力を身につけることを目標とする。						
授業計画	第1回：前期の復習。3-1 したこと、あったこと 第2回：3-1 したこと、あったこと（続き） 第3回：3-2 あのころは… 第4回：3-2 あのころは…（続き）。3-3 場所と思い出 第5回：3-3 場所と思い出（続き） 第6回：3-4 できごとと背景 第7回：3-4 できごとと背景（続き）。復習と文法のまとめ 第8回：4-1 描写、印象・意見 第9回：4-1 描写、印象・意見（続き）。4-2 欲しいもの、好き嫌い、理由 第10回：4-2 欲しいもの、好き嫌い、理由（続き） 第11回：4-3 身体の調子、したいこと・しなければならないこと、助言 第12回：4-3 身体の調子、したいこと・しなければならないこと、助言（続き） 第13回：4-4 許可、依頼、指示、メール、手紙 第14回：4-4 許可、依頼、指示、メール、手紙（続き）。復習と文法のまとめ 第15回：質疑応答と最終試験（口頭・筆記）						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所を目を通しておくこと（具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する文法や表現・単語を確認したあと、教師と学生・学生同士などで口頭練習を行いながら知識の定着をはかる。 授業中の質疑応答などは、できる限りフランス語を用いて行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（口頭試験・筆記試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『フランス語2020』中川 努他 著、白水社 ISBN978-4-560-06105-3						
参考書							